

---

# 2012年度(平成25年3月期) 決算説明会資料

---

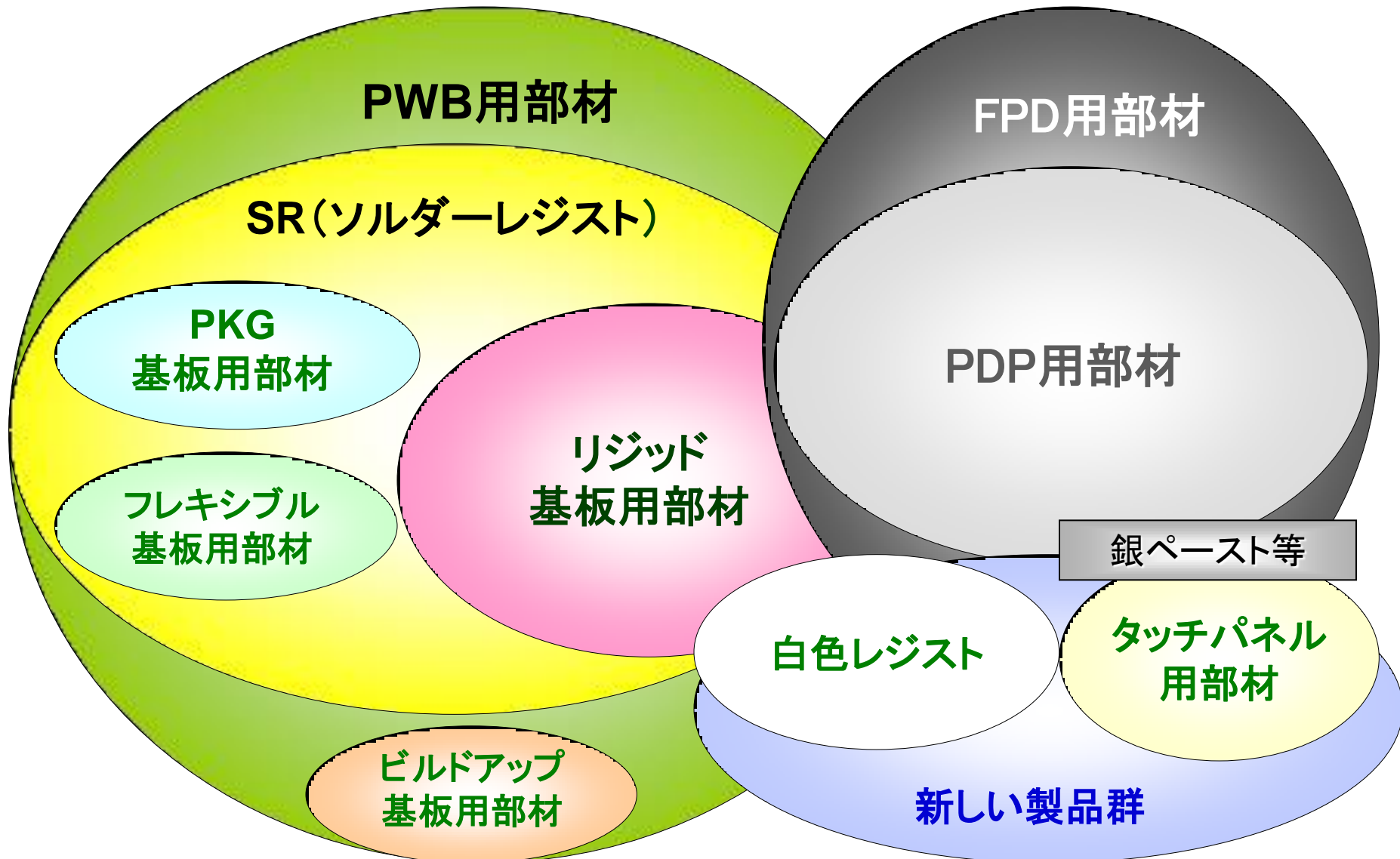
太陽ホールディングス株式会社

2013年05月09日



本資料の如何なる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではなく、今後、予告なしに変更されることがあります。万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社は一切責任を負うものではありません。

# 当社グループの製品分野



用語	内容
PWB (Printed Wiring Board)	プリント配線板
FPD (Flat Panel Display)	フラットパネル・ディスプレイ
PDP用部材 (Plasma Display Panel)	プラズマディスプレイ・パネル
SR (Solder Resist)	ソルダーレジスト
PKG基板用部材 (Package)	半導体パッケージ

1. 2012年度 連結業績概要
2. 2013年度 連結業績予想
3. GBP2010の総括
4. 中長期的な目標
5. その他トピックス

# 1. 2012年度 連結業績概要

# 2012年度累計 連結業績

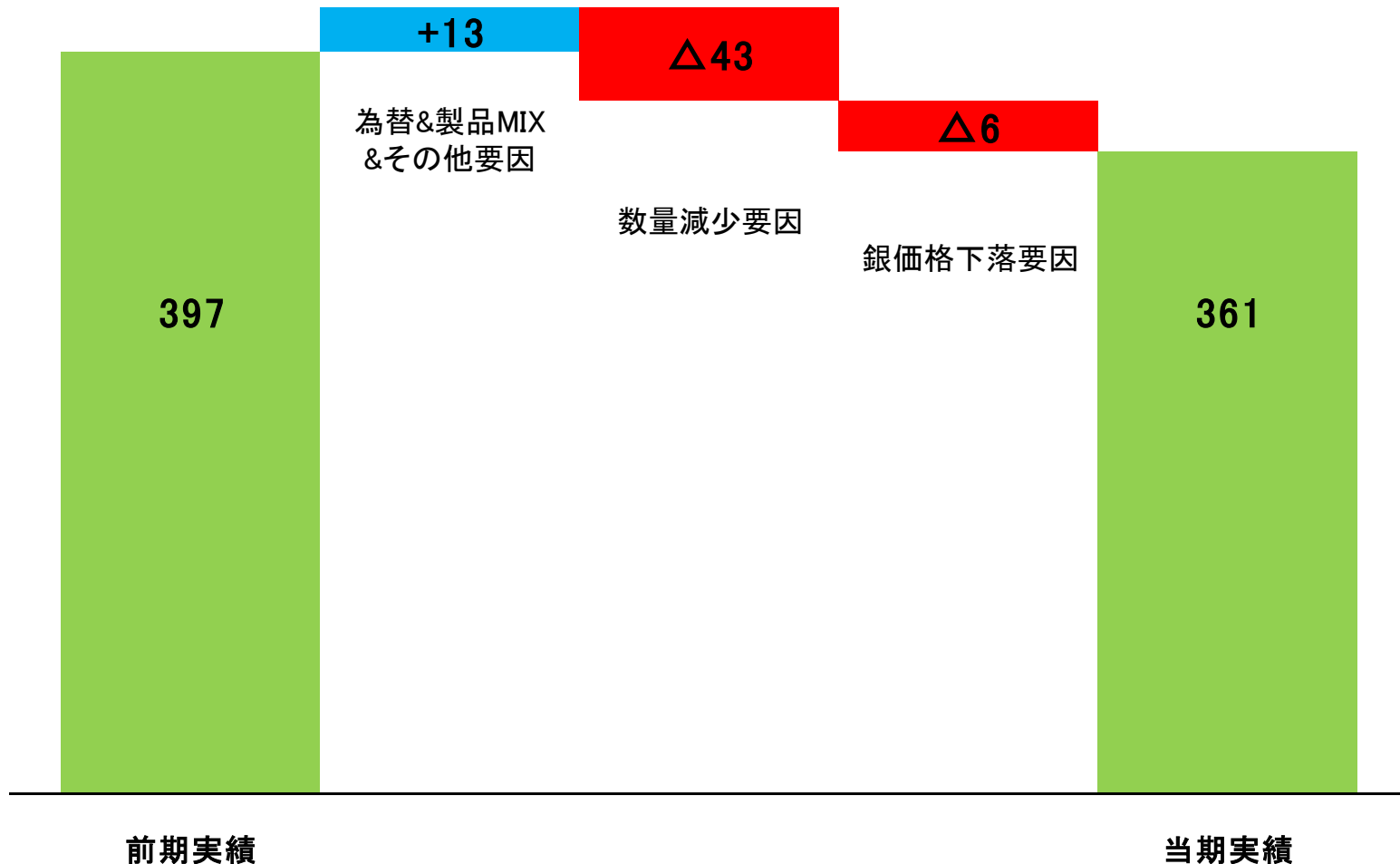
(単位:百万円)

項目	11年度 累計	12年度 累計	増減額	増減率	業績予想
売上高	39,797	36,184	△3,613	△9.1%	36,500
営業利益	4,040	4,385	345	8.5%	4,500
経常利益	4,027	4,743	717	17.8%	4,500
当期純利益	2,502	3,367	865	34.6%	3,200
円・USDレート	79.3	83.2	3.9	-	80.0

# 2012年度実績 減収要因(前期比)

## 売上高

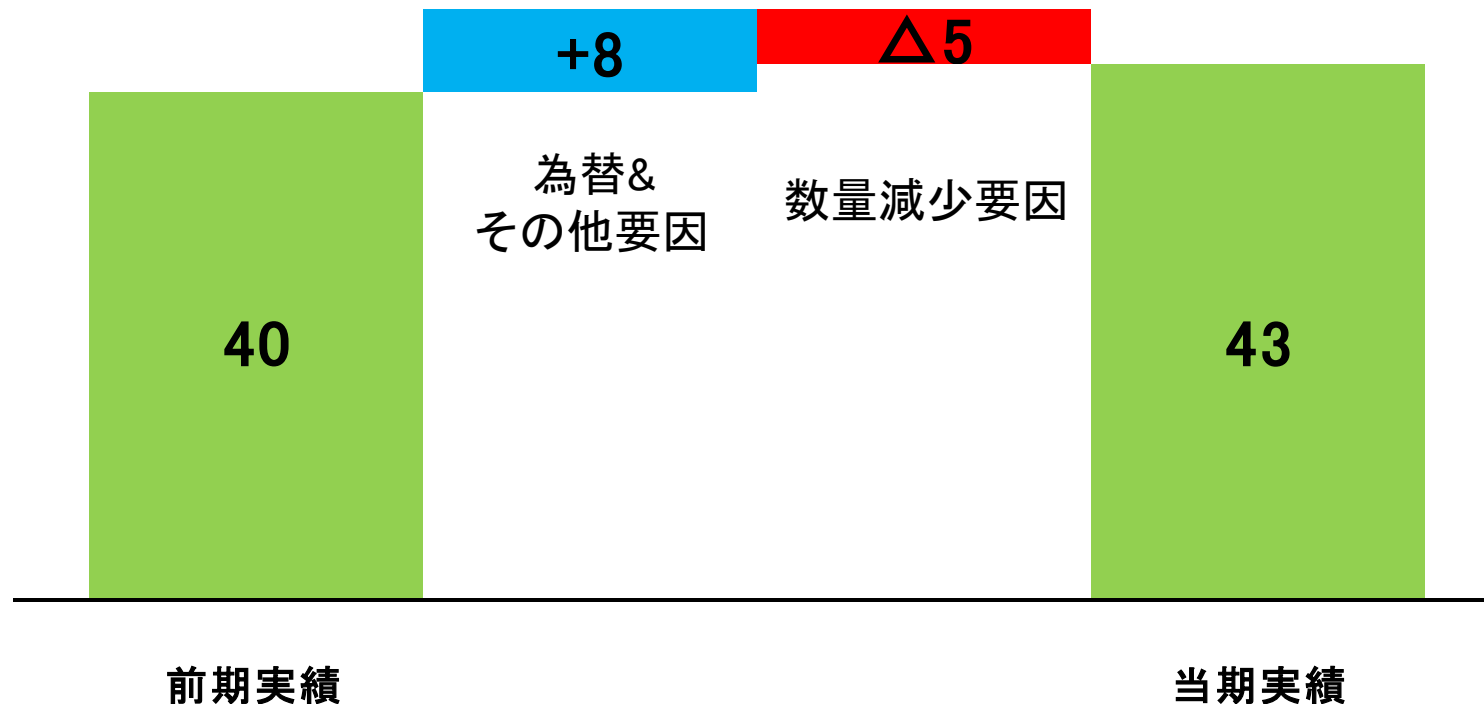
(単位:億円)



# 2012年度実績 増益要因(前期比)

## 営業利益

(単位:億円)

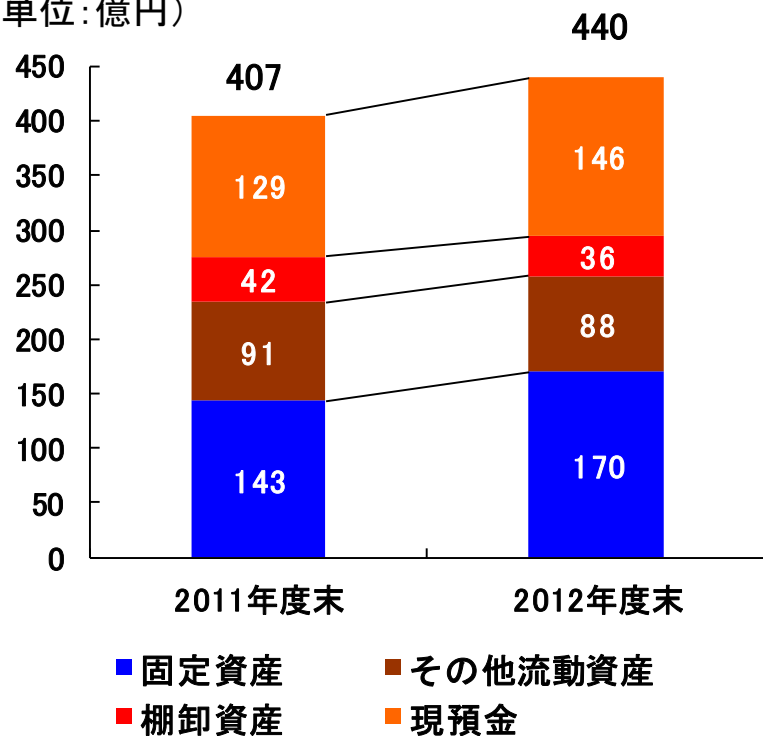




# 2012年度 BSの概況

## 資産

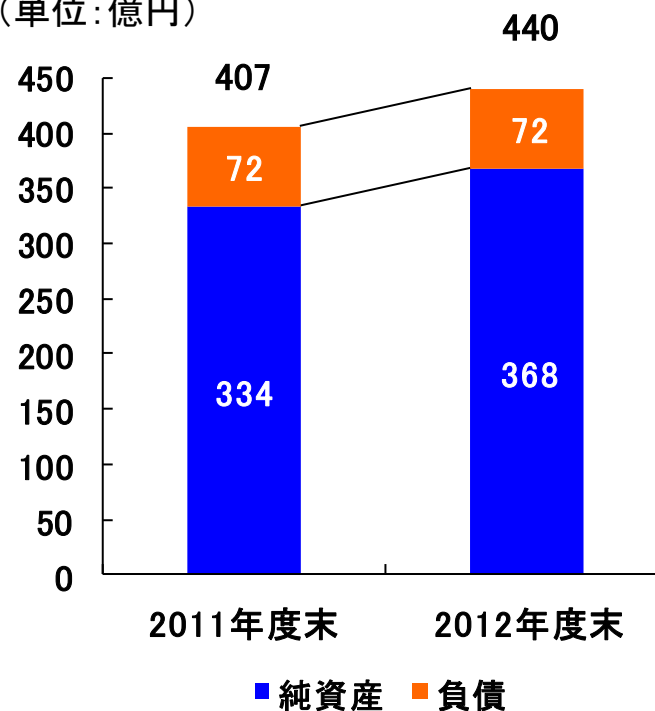
(単位:億円)



- 現預金の増加
- M&Aによる投資有価証券の増加

## 負債・純資産

(単位:億円)

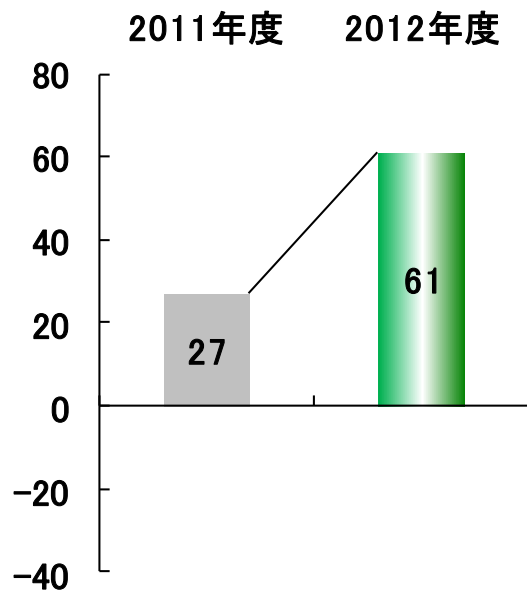


- 為替換算調整勘定の改善
- 利益剰余金の増加

# 2012年度 CFの概況

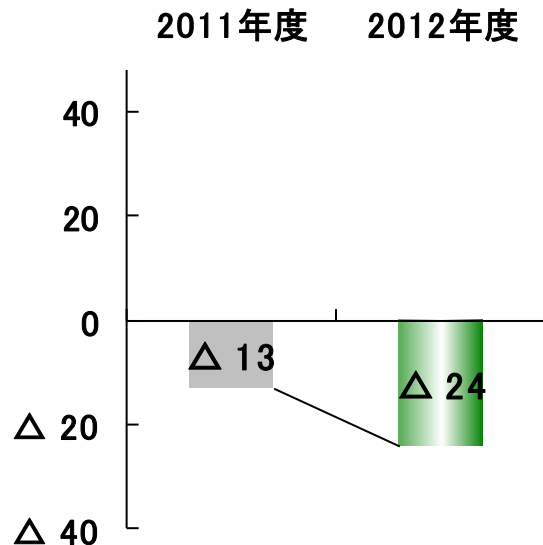
## 営業CF

(単位:億円)



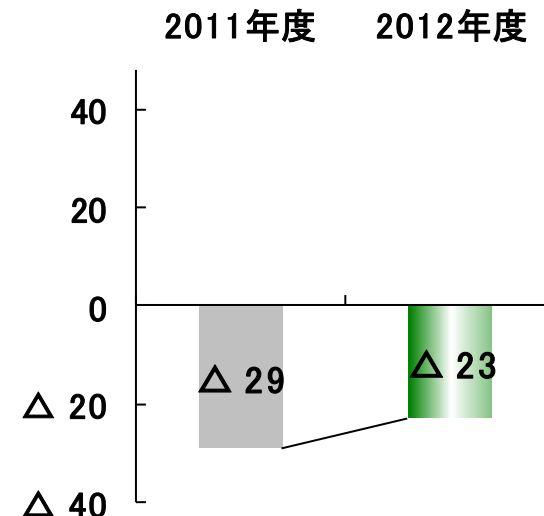
## 投資CF

(単位:億円)



## 財務CF

(単位:億円)



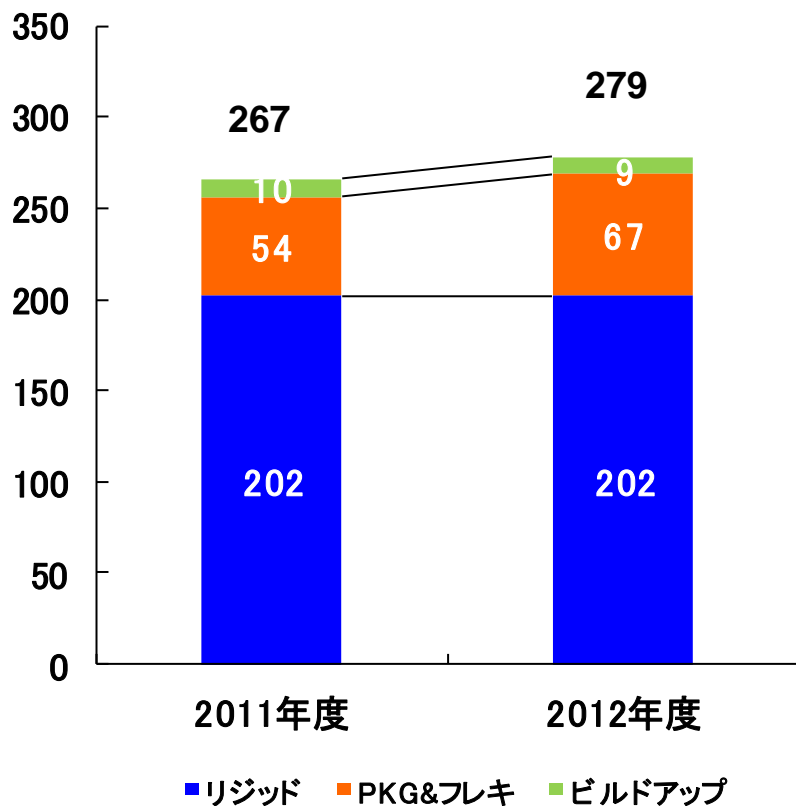
- 利益の増加
- 売上債権の減少
- 棚卸資産の減少

- M&Aによる支出の増加

- 11年度記念配当による支出の増加

## 売上高

(単位:億円)

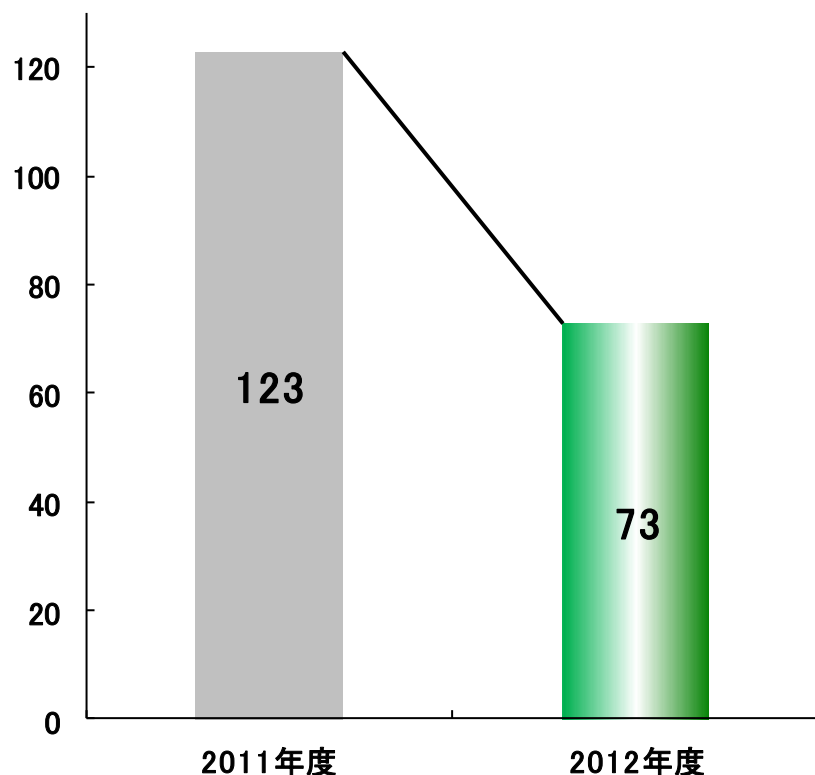


□パソコン・AV向け製品売上は減少したが、車載・アミューズメント向けは好調を維持

□スマートフォン・タブレット向けの高機能PKG製品売上は好調

## 売上高

(単位: 億円)

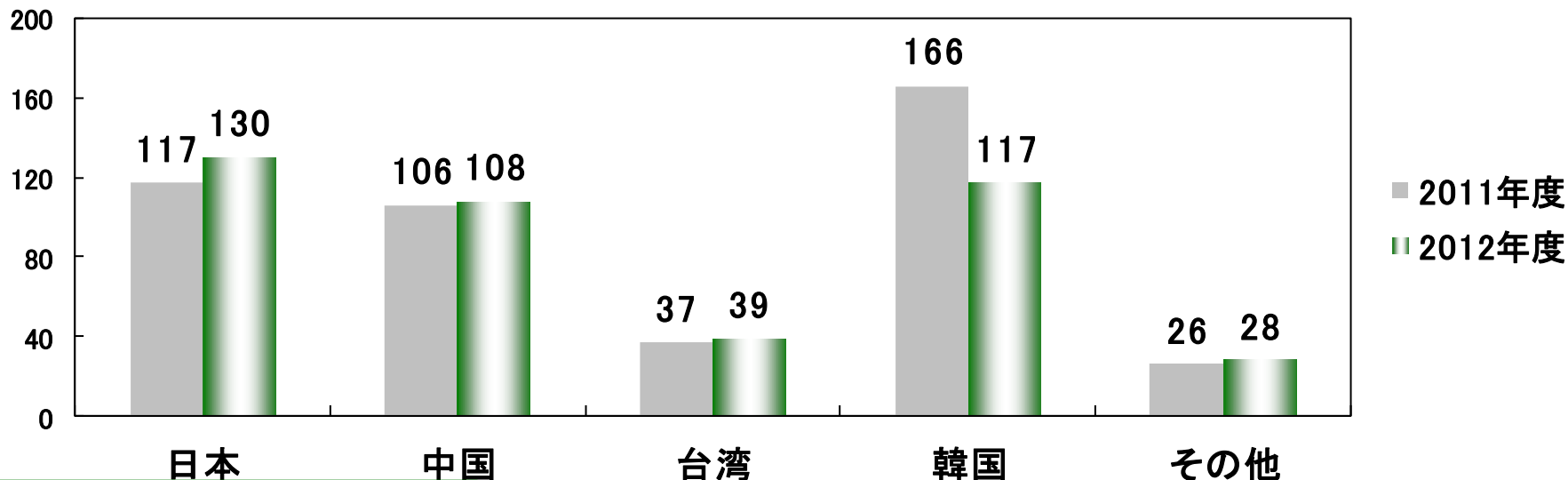


- 11年度高騰した原材料の銀価格が下落したことにより、連動する販売単価も下落
- PDPテレビマーケット縮小のため販売数量も大きく減少

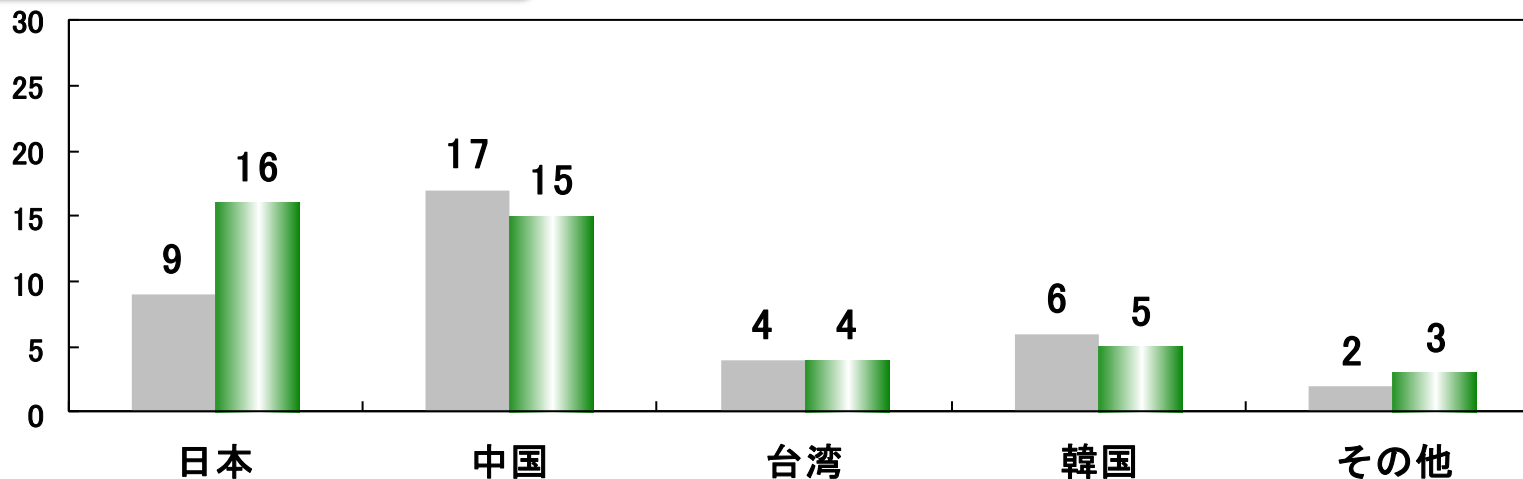
# 2012年度 セグメント売上・利益

## 売上高

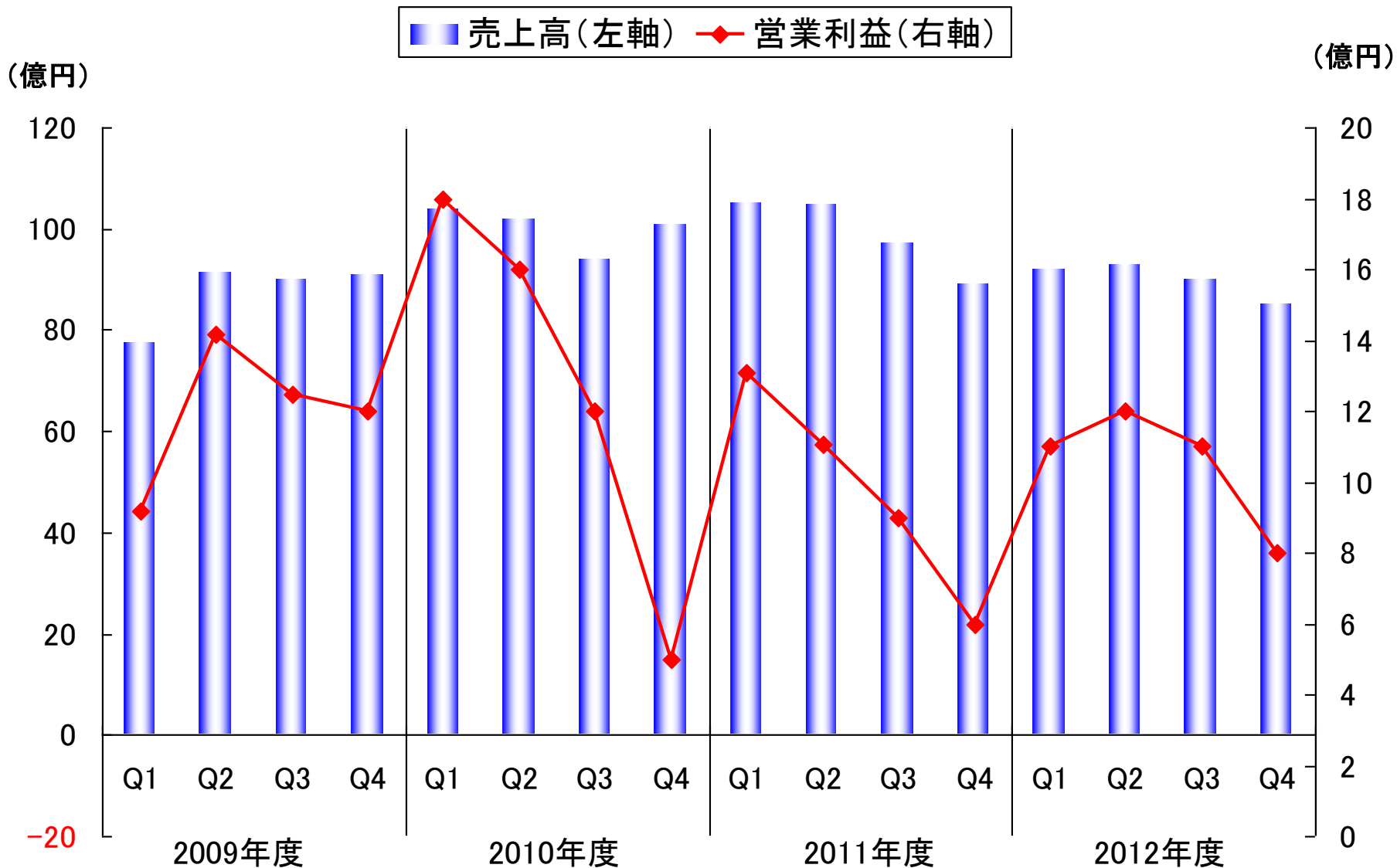
(単位:億円)



## 営業利益

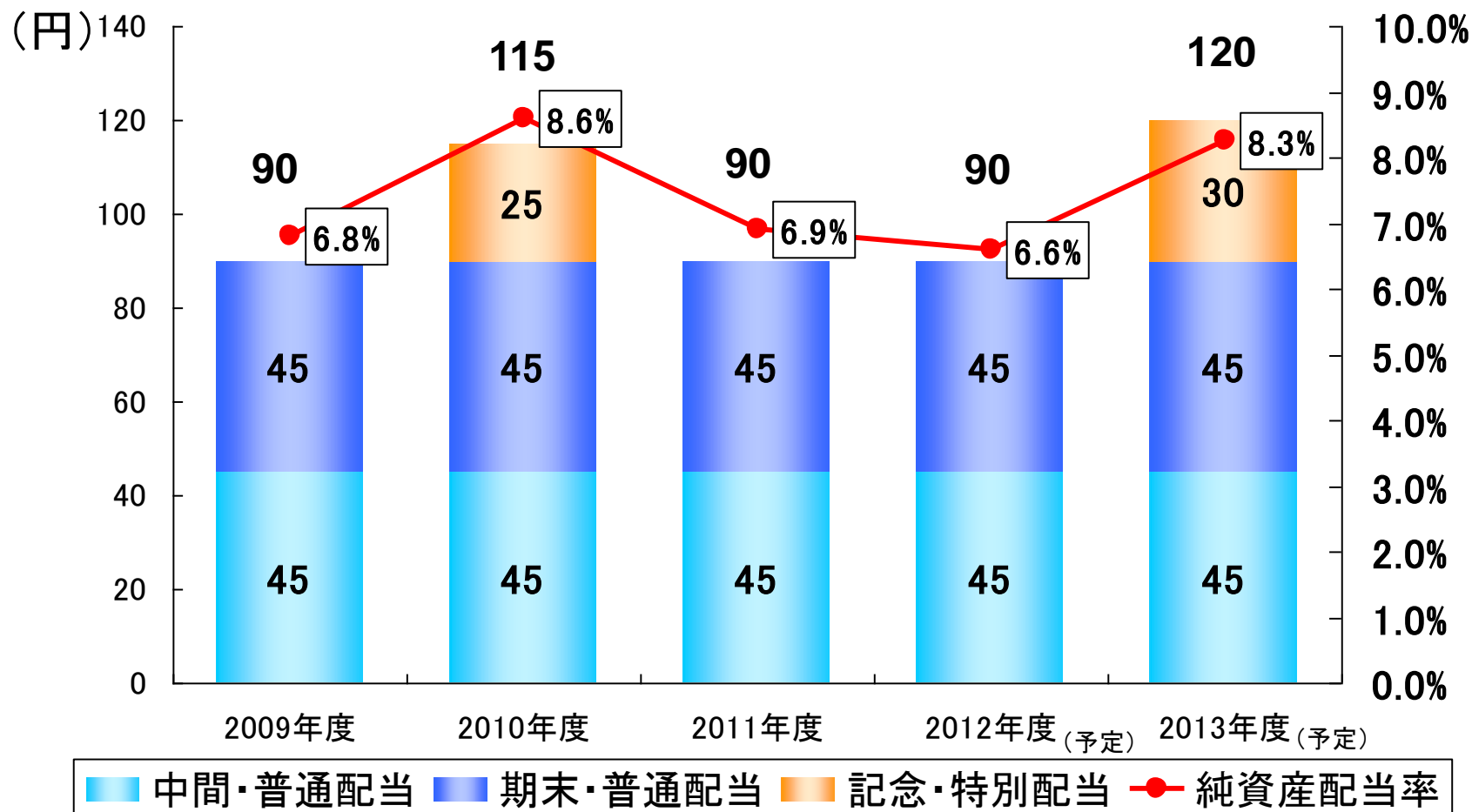


# 四半期別の推移



□ 12年度の配当予想に変更なし

□ 13年度は記念配当(中間配当)の予定



## 2. 2013年度 連結業績予想



# 2013年度 連結業績予想

(単位:百万円)

項目	12年度 実績	13年度 予想	増減額	増減率
売上高	36,184	40,000	3,816	10.5%
PWB等	28,866	34,000	5,134	17.8%
FPD	7,316	6,000	△1,316	△18.0%
営業利益	4,385	6,800	2,415	55.0%
経常利益	4,743	6,800	2,057	43.3%
当期純利益	3,367	4,700	1,333	39.6%
円・USDレート	83.2	95.0	11.8	—

## PWB

- OTC社買収により低価格品の価格下落に歯止め
- 2012年度好調であったスマートフォン・タブレット向けPKG用製品売上は引き続き拡大

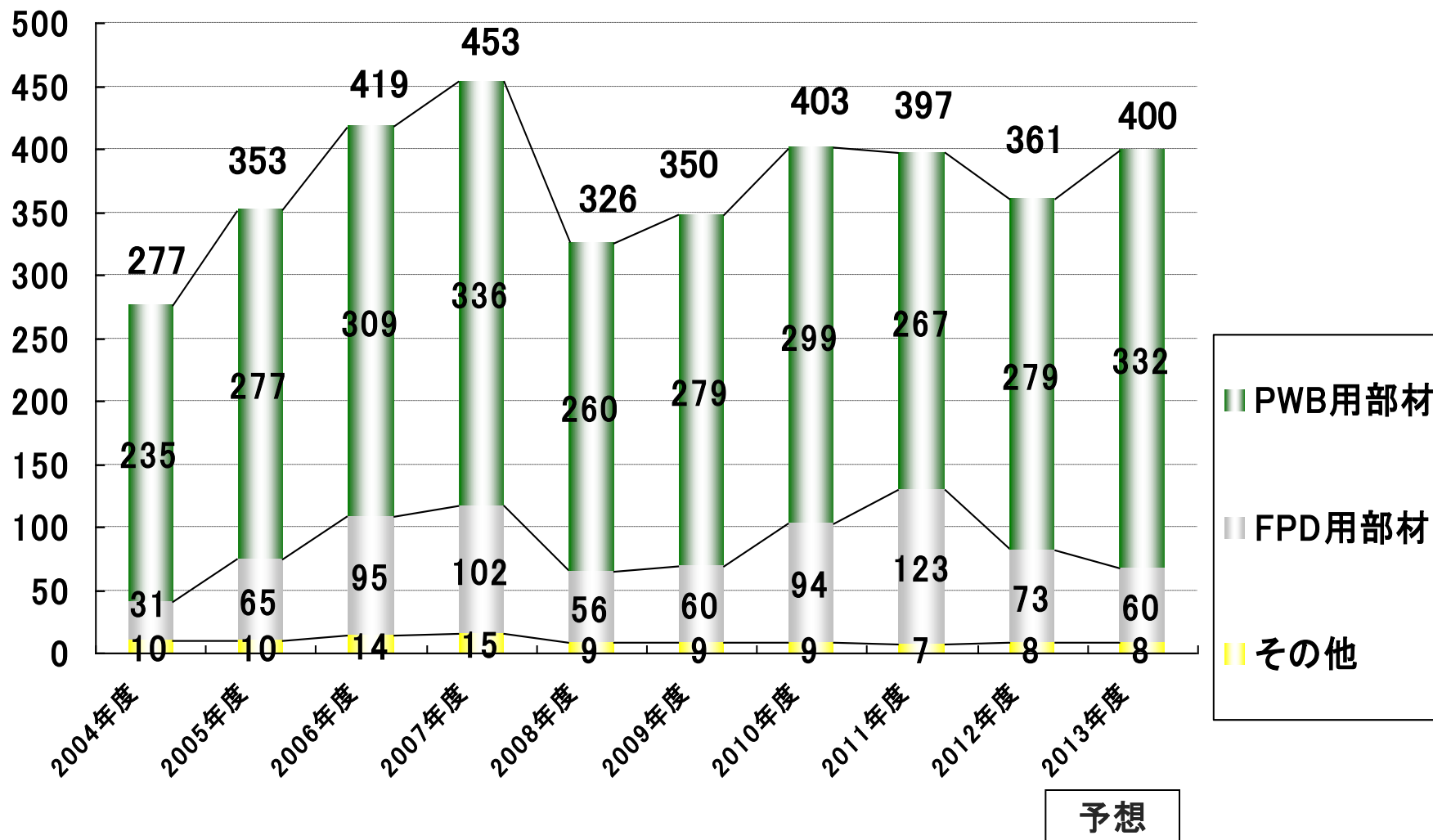
## FPD

- PDPテレビ用部材は競合退出後の市場で一定の利益を確保
- PDPテレビ用部材の技術を転用し、タッチパネル用部材の開発販売に注力

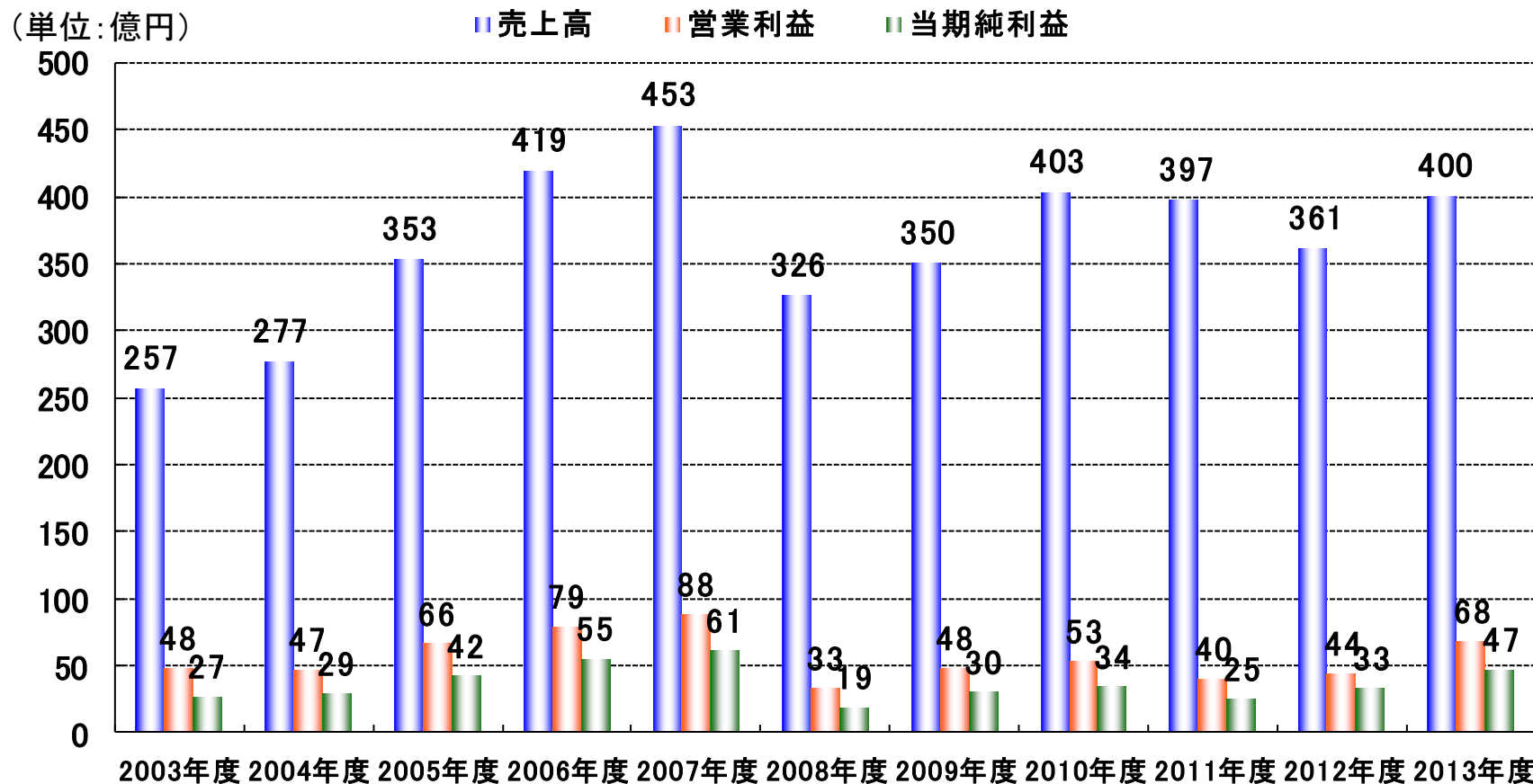
# 連結売上高(PWB等・FPD)の推移

## 売上高

(単位:億円)



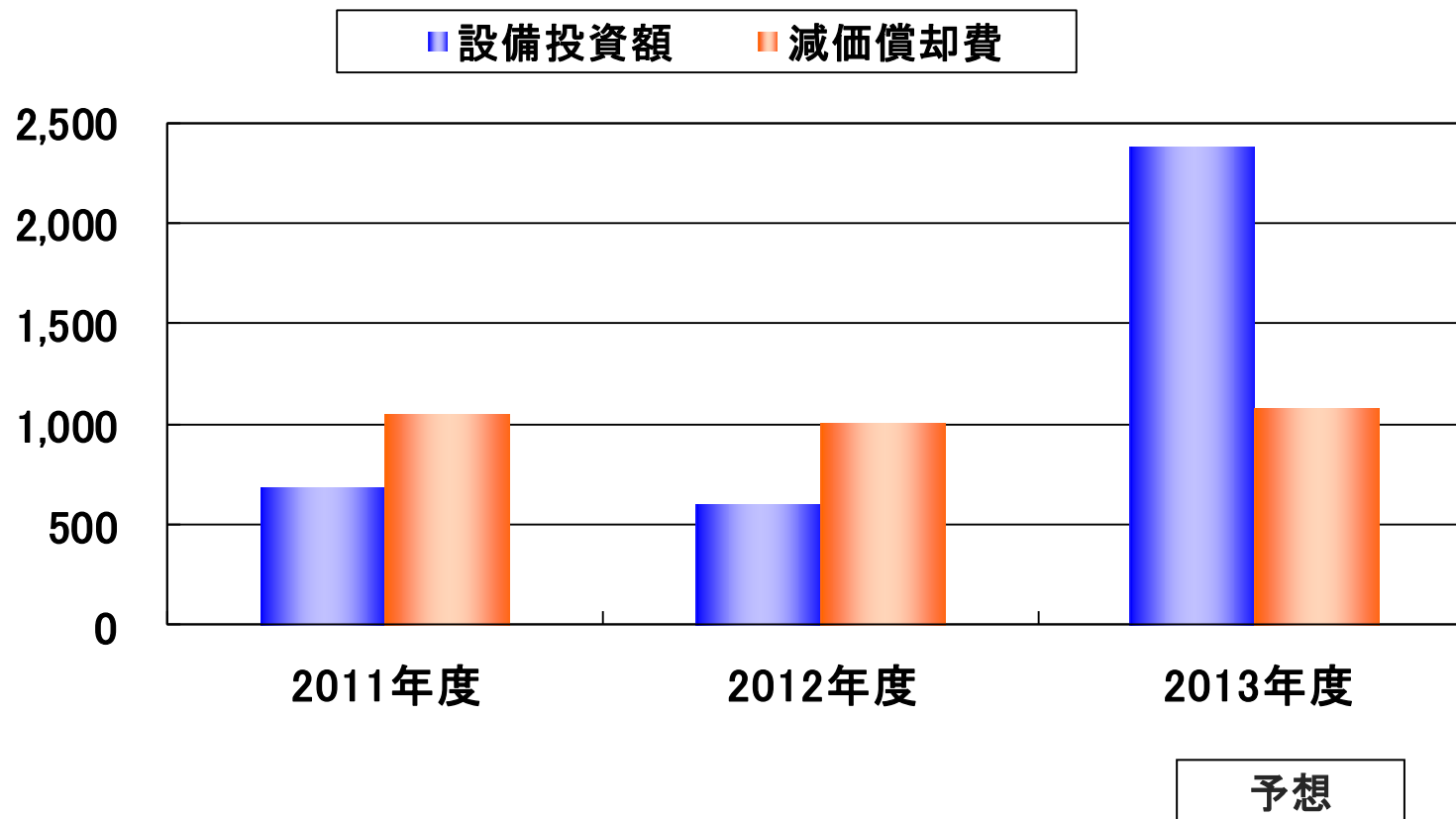
# 連結業績の推移



予想

# 設備投資と減価償却費

(百万円)



# 3. GBP2010の総括 (2010年度～2012年度)

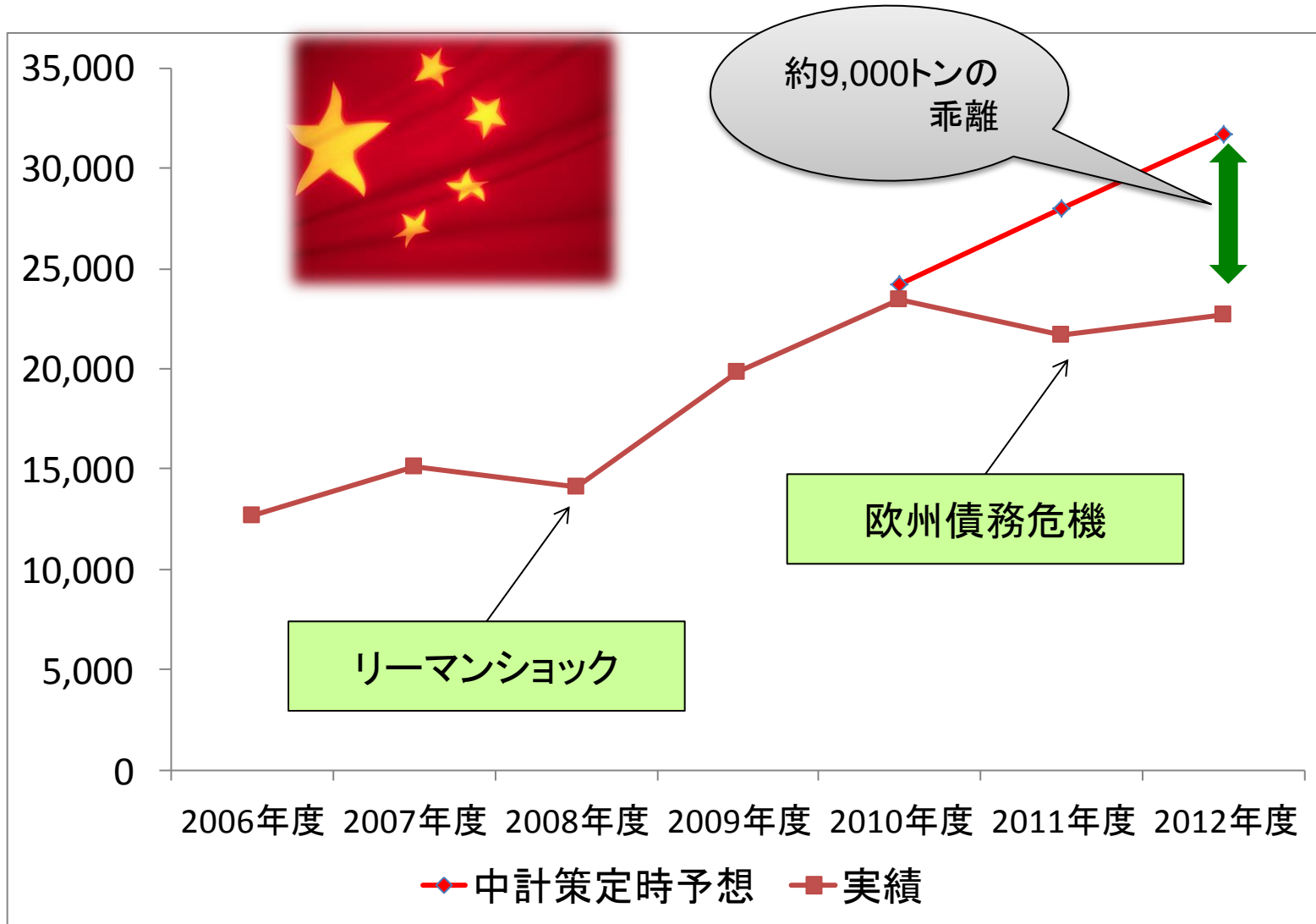
# 実績と中計の差異

□売上・営業利益目標は未達成

	13年3月期	GBP2010	差
売上高	361億円	480億円	△119億円
PWB等	288億円	385億円	△97億円
FPD	73億円	95億円	△22億円
営業利益	44億円	77億円	△33億円
営業利益率	12.1%	16.0%	△4.9%
新製品・新分野売上高	34億円	40億円	△6億円

# 中国のSR市場推移

(単位:トン)





- 戦略的低価格品の投入により、他社攻略に一定の成果があった。
- OTC社の買収により、中国市場シェア50%を達成した。
- 2012年度にタッチパネル用部材の新製品の開発開始。今後の売り上げ拡大が見込まれる。
- 時間軸を基準に研究と開発の役割を明確に切り分け、基礎研究力の向上と、新製品の製造販売体制を強化した。
- 人材育成のポリシーを構築し、体系的な研修、大学への出向を行うなど、人材育成のシステムを整備した。

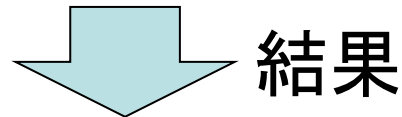
## 4. 中長期的な目標

# 中長期的な目標

SR業界での世界シェア1位  
→市場動向の影響大

海外売上比率80%超  
→為替の影響大

シェア・新製品



売上高・利益

研究開発体制の整備

新製品の迅速な事業化

自律型人材の育成

為替リスク対策

## 5. その他トピックス

- 平成24年8月9日『永勝泰科技股份有限公司』の51.0%の株式取得について基本合意を締結
- 平成24年11月22日 25.5%の株式を899百万台湾ドル(2,551百万円)で取得
- 残り25.5%の株式の価格交渉を継続中
- 51.0%の株式を取得した後も、追加で株式を取得する予定

